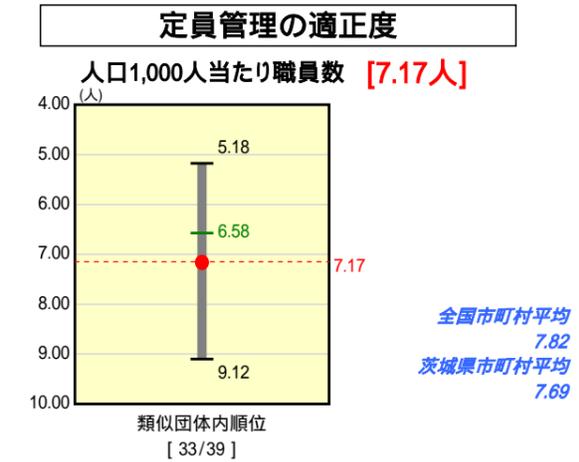
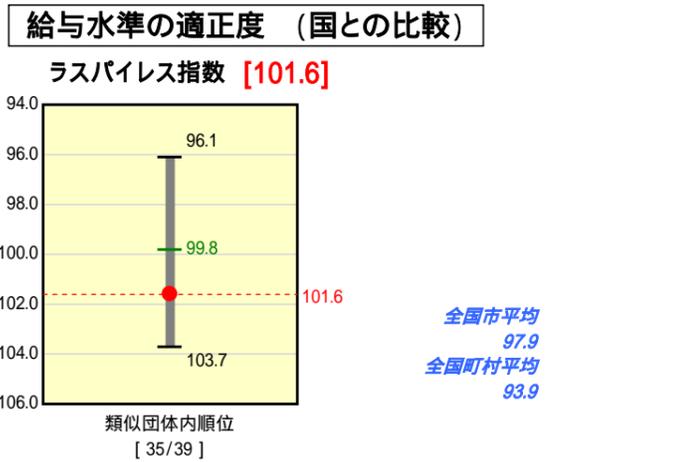
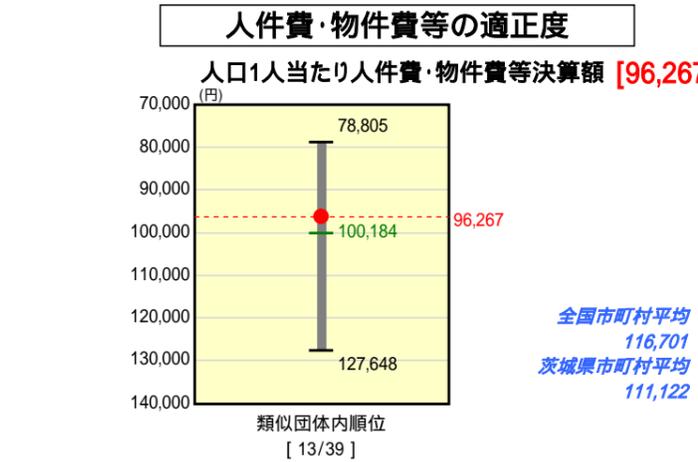
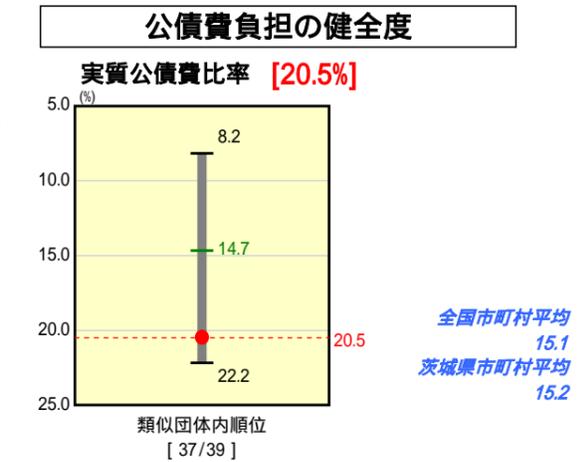
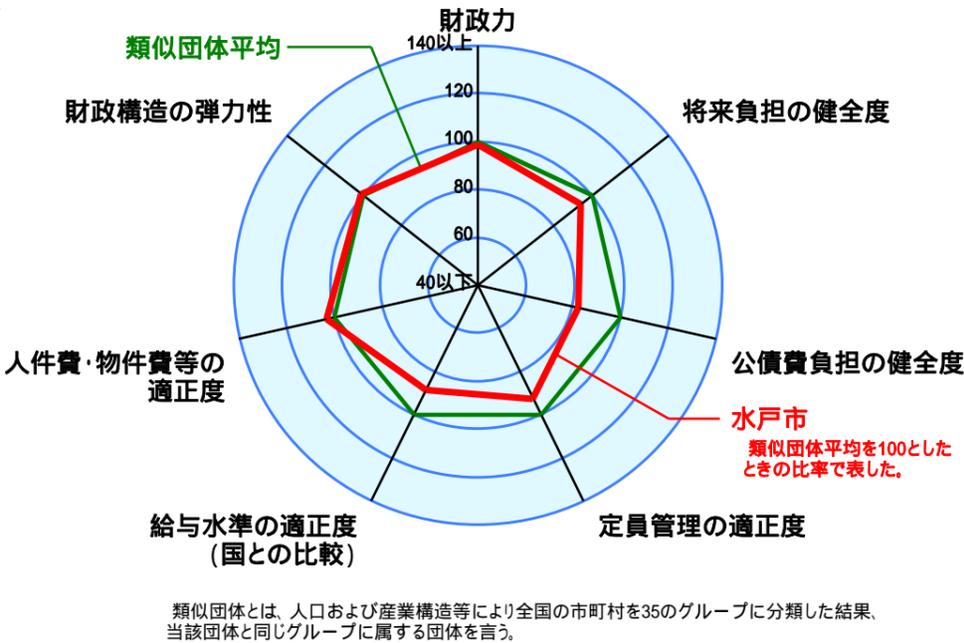
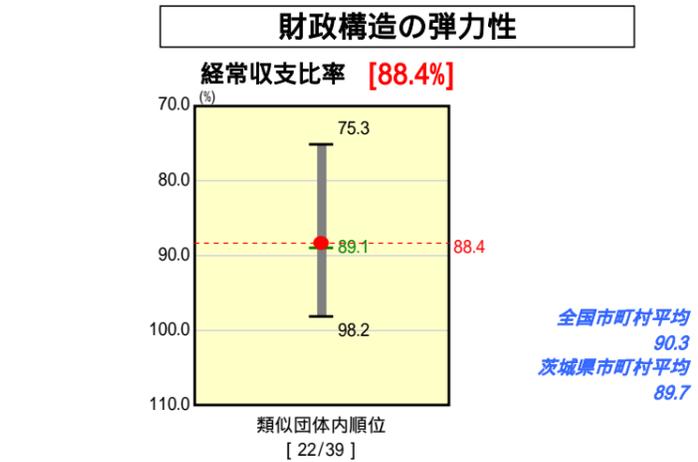
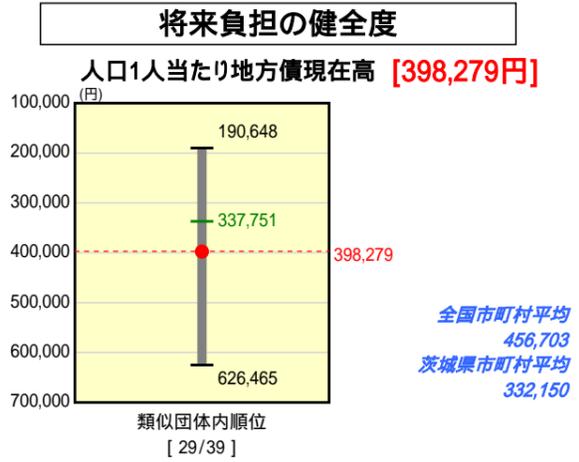
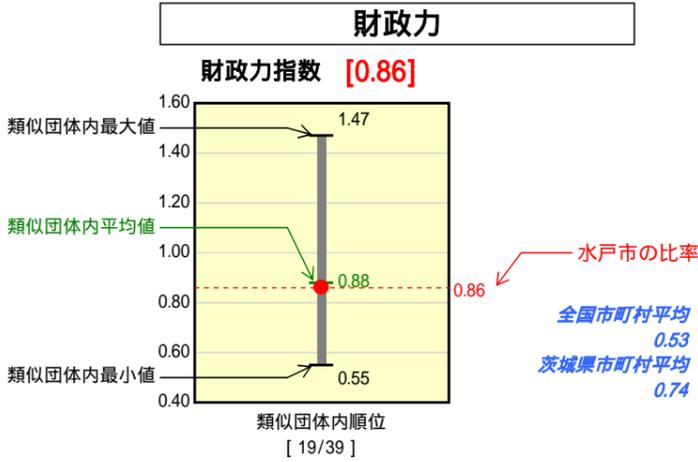


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

茨城県 水戸市

人口	264,709	人(H19.3.31現在)
面積	217.45	km ²
歳入総額	83,036,668	千円
歳出総額	80,820,160	千円
実質収支	1,360,057	千円



分析欄

【財政力指数】
景気低迷による市税の減収などにより、平成元年度から年々悪化し、平成16年には0.83となったが、その後、やや上昇し、現在0.86と類似団体平均と同程度となっている。今後とも、行政改革の推進や、投資的経費の抑制等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税収の収納率向上対策や新たな財源の確保など歳入確保に努める。

【経常収支比率】
類似団体平均89.1%に対し、水戸市は88.4%と平均的な値であるが、人件費、扶助費、公債費など経常的経費の割合が高まっているため、引き続き「水戸市行財政改革プラン2007」(平成18年12月策定)に基づき市債発行の抑制、職員定数の削減・給与等の適正化、事務事業の整理・統廃合など、経常的経費の削減を図るとともに、徴収強化等による市税収入の確保を図り、財政構造の健全性・弾力性の確保に努める。

【実質公債費比率】
市債発行の協議制への移行基準値である18%を上回る20.5%であり、類似団体平均14.7%を大きく上回っているため、平成19年度に改訂した「公債費負担適正化計画」に基づき、市債発行の抑制、公営企業会計における受益者負担の適正化等により、公債費負担の低減を図り、平成23年度までに18%以下に低下させる。

【人口1人当たり地方債現在高】
市債残高は前年度比でマイナスとなっているが、人口1人当たり現在高は398,279円と類似団体の平均を上回っているため、「水戸市行財政改革プラン2007」に基づき、起債依存性の高い投資的事業の抑制に加え、市債の発行を元金償還額の8割程度に抑えることにより、市債残高の縮小を図る。

【ラスパイレス指数】
平成12年の102.0から徐々に低下してきたが、給与と構造改革の平成18年度導入を見送ったことにより、類似団体平均より高い101.6となっているが、地域手当支給率について、国基準4.0%のところ、水戸市は1.0%と低くしているため、地域手当補正後の指数は、98.7と低くなる。平成19年4月から給与と構造改革を導入したが、今後一層の給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均6.58人に対し、7.17人と平均を上回っているため、「水戸市行財政改革プラン2007」では平成19～23年度までの5年間で、9.5%の定数削減を目標に掲げており、これを着実に実施し、より適正な定員管理に努める。

【人口1人あたり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均101,184円を下回る96,267円となっているが、今後も、職員定数の削減・給与等の適正化による人件費の削減、事務事業の整理・統廃合、民間等委託化の推進、内部管理経費の見直し等による物件費の削減に努める。